

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |           |           |
|---------|-----------------|-----------|-----------|
| 事業所番号   | 2472800909      |           |           |
| 法人名     | 中央ケアサービス株式会社    |           |           |
| 事業所名    | なでしこ大紀          |           |           |
| 所在地     | 三重県度会郡大紀町崎181-4 |           |           |
| 自己評価作成日 | 平成23年3月4日       | 評価結果市町提出日 | 平成23年5月2日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://kaigos.pref.mie.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2472800909&amp;SCD=320">http://kaigos.pref.mie.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2472800909&amp;SCD=320</a> |
|----------|---|

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 |
| 所在地   | 津市桜橋2丁目131        |
| 訪問調査日 | 平成 23 年 3 月 18 日  |

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

なでしこ大紀の理念の「笑顔とやさしい声の響きこそ最大の良薬・利用者の苦しみを除き楽しみを与える事こそがケアの原点・心と目は常に利用者に・利用者のために職員の団結・常に現状を乗り越える知恵の発揮を」が特に力を入れている点であり、アピールしたい事である。さらに地域になくなくてはならない存在になる事・地域の灯台のような存在になる事が最大の目標である。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域活動にも積極的に地域に開かれた明るいグループホームである。ゆったりした敷地に2ユニットの施設、笑顔と優しい声が聞こえて、利用者の元気な話し声が聞き取れる。社長共々職員が利用者主体に考えた支援で、安心と安全が守られた明るい環境が提供されている。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|--|---|---|---|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | <input type="radio"/> 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |   |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |  |
|--------------------|-----|---|--|--|--|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                                    |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |  |  |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 理念を室内に掲げ、毎朝引継ぎ時唱和している。又、毎月の全体会議で確認し合い、常に念頭において実践している。  | 理念は毎朝の朝礼時に唱和する。毎月の全体会議で確認し合い、ケアサービス提供の原点として全員で共有し、実践に生かされている。  |  |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 各所で行われるイベント情報を把握し、出来る限りの交流を支援している。地域の文化展にも出品し見に出かけた。又、近所のスーパーへの買い物もよく行っている。家族・親戚の方が気軽に訪問されている。       | 地域行事への参加、民生委員・ボランティアの参入、学生の職場体験等、地域とのつきあいが積極的に進められている。   |  |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 毎年恒例になっている夏祭りなど、近所や地域の人に呼びかけ沢山参加して頂いた時や、他にも施設のイベントの折に認知症についてのパンフレットを用意し、自然な形で交流ができご理解いただいている。        |  |  |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 2ヶ月に1回行う推進会議では、入居者の現状や取り組みを報告し、頂いたご意見は即職員で話し合い実践に活かしている。   | 行政担当者・民生委員・市町議員・包括支援センター・元教師など有識者が家族代表と共に運営推進会議に参加し、積極的な意見交換がなされている。出された意見や相談事を含め、前向きに検討し運営に反映させている。 |  |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 運営推進会議に健康福祉課・ケアプランセンター・地域包括支援センター・民生委員・議員・ボランティア・家族代表に参加いただき、報告し意見を交わしている。町で研修会を開いて欲しいと要望して開催してもらった。 | 市町福祉課と連携し、話し合いながら事業の運営や職員の資質向上のために研修会を開催する等、協力・協働関係が築かれている。  |  |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアを、代表者初め職員は充分理解しているし取り組んでいる。  | 身体拘束をしないケアを実践しているが、リスクが予測されるケースについては家族の了解のもと、安全ベルトの使用で事故の発生を予防している。                                  | 身体拘束0を目指し、更なる研修と職員のスキルアップで、リスクに惑わされないケアの体制づくりを期待したい。 |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 虐待は絶対にしてはいけないし、していません。   |  |  |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 研修会に参加し学んでいるが、今までに必要となった人はいない。  |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約の際は前もってお渡しし、ゆっくり時間を取ってから詳しく説明するよう心がけている。  |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 運営推進会議には家族代表にも参加していただき意見をいただいているし、苦情相談窓口にもなってもらっている。玄関にもポストを設置。パンフレットも置き、又意見用紙を家族に送付し直接伺えるよう努力している。 | 運営推進会議や面会時の面談、家族の意向調査、家庭訪問で家族の悩みや相談事と共に意向を把握し、利用者が安心して生活できる為の環境が提供できるように運営に反映させている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 職員の意見や提案を全体会議だけでなく常時しっかり聞いているし、いえる雰囲気が出てきている。年1回文書で提出してもらっている。                                      | 介護実践の場や毎年提出される文書での提案等を踏まえて、職員一人ひとりの意見意向を把握し、出来る限り運営に反映させている。                        |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 働きやすい環境、状況を極力考慮し配慮しているし、話し合いの機会をよく持っている。  |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員の人材育成が重要と考え研修を推進したり、新人職員には独自に研修会を持っている。   |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | GH協議会の研修会に毎月参加して同業者の交流を大事にしている。地域のネットワークの研修会に沢山参加できた。   |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居者が不安、不穏にならないよう意識して声掛けを心がけ、常にスキンシップをとりながら傾聴し、よき信頼関係を築いている。                       |  |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 家族との面談時間を多く持ち話をしっかり聞き、要望を受け止め、職員間の協議を重ねている。                                       |  |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 家族と本人の意見を一番に尊重し、その上でまず必要としている支援を見極める事に重点をおき、時間をかけて話し合い、サービスに活かしている。               |  |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 洗濯物たたみや買い物、茶碗洗い・縫い物など、できる事はなんでもやってもらうことで必要とされている事を解かっていたくよう努めている。                 |  |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 毎月のお知らせと、一人ひとりに担当がついており、3ヶ月ごとに手紙で状況を知らせている。来設の折は家族の記念写真をとったり、ゆっくり過ごしていただくよう努めている。 |  |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | いきつけの美容院や墓参り、見舞い、など出来る限りの支援をしている。   | 買い物・墓参り・自宅訪問等、利用者個々の馴染みの場所や人との関係を大切に、積極的に支援している。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 気が合う人、合わない人のつながりなどを把握し、いい距離が保てるよう配慮しているし、皆で楽しめるよう考慮している。                          |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院の為、退去されるケースがほとんどで、励ましの寄せ書きや千羽鶴などをお持ちしている。また自宅に帰られたケース時には、本人・家族の相談に応じ支援した。           |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 本人と向かい合い、何でも話してもらえ関係を意識し、家族にも伺い検討している。  | 利用者個々の意向や意見が表出出来易い環境・関係を提供することで、思いを把握するとともに、利用者本位に考えた支援が出来るように努力している。   |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 認定調査資料なども参考にして、その上で状況把握しながらよりよき方向にと努力している。  |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 一日の過ごし方は本人のペースに合わせる事が基本にあり無理をさせない声掛けをし、職員が入居者に目を向ける事で見えてくる現状を把握し支援している。               |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 面会時には現状報告をしながら必ず話し合いの時間を持ち、本人・家族の希望に添えるよう職員とよく協議して作成している。                             | アセスメント・モニタリングを繰り返し、状況进行评估し最低でも3ヶ月1回の介護計画見直しを行い、適切な計画と支援が提供できるようにしている。見直された計画は家族に訪問や面会と共に説明し、一緒に考え支援していく努力をしている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 正確かつ詳細に記入する個別記録や気づきは職員間の大切な共有材料になっている。職員がサインする事で共有の確認としている。職員としての気づきや見直しの提案は即話し合っている。 |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 行きたいところ・したい事、全て叶えられなくても努力はしている。こんな事までと思えることは職員で話し合っ決めてる。                              |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域の特色、産物、地域柄など職員も地域の出身なのでよく把握し理解しており、GHの共同生活を安心して楽しんでもらえるよう支援している。                |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | かかりつけ医は2週間毎に往診していただけるし、十分な時間をかけて診てもらっている。緊急の際もすぐ対応してもらえる関係にある。直接家族と話が出来るよう支援している。 | 協力医(主治医)による2週間に1回の往診と、かかりつけ医への受診で適切な医療が受けられる支援を行っている。   |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 気づきや情報は詳細に伝えられきちんと連携が取れており、休日でも対応できる関係ができています。                                    |   |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中には家族・医師・看護主任交え、サービス担当者会議を開催している。入院時には介護サマリーを提出、退院時には看護サマリーをもらい、関係づくりをしている。     |   |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 事業所でできるサービスを家族に説明し、納得を得たうえで家族の意向もしっかり伺っている。かかりつけ医にも伝え了解を得て、介護上の注意点を守り総力で対応している。   | 事業所の対応能力を踏まえ医師・家族と話し合い、家族や利用者が納得できる対応や支援の方法を話し合っている。  |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 対応方法は、全職員はマニュアル通りに対応できるように身に付けているし、連携プレーで対応している。教訓も生かせるようその都度緊急会議を持ち話し合っている。      |   |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 訓練には全員参加を義務付けている。又地元職員が数名駆けつけられる状態にある。運営推進会議の席上でも協力体制をお願いしている。地域の防災委員会に所属している。    | 年2回の定例の避難訓練の実施と、地域防災組織を交えた訓練を積極的に実施するとともに、日頃から職員の防災意識を持つ話し合いがなされている。広い敷地を利用して地域の避難場所として利用してもらえるよう、地域に向けて提案している。 |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 理念に笑顔とやさしい声の響きこそ最大の良薬とあるように、全体会議で一番注意し合ひ話し合われるのは、入居者への人格の尊重と言葉遣いである。常に気をつけて対応している。        | 笑顔とやさしい言葉掛けが利用者の人格尊重の原点であると、いつも全体会議で話し合っている。高圧的な姿勢や強制が利用者の自尊心を侵害し、人格の尊厳に大きな支障となると考え常に留意している。 |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 本人の希望や思いを聞き出せたり気づいたり出来るよう努力しているし、そういう雰囲気を作るよう努力している。                                      |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者の体調やペースを乱すことなく、まず聞いてみて本人の希望を優先し支援している。   |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 床屋の経験のある職員がいるので整髪もきちんと出来ているし、髭剃り・爪きりも出来ている。選べる人には自分で好みの服を選んで着用してもらっている。                   |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 気の合う人と同じテーブルで会話を楽しみ、嗜好品を分け合いながら食事が出来るよう考えて席を決めている。お膳運びや食器洗いも出来る範囲は一緒にやっている。               | 利用者の嗜好を上手く取り入れて、楽しく食事が出来るように配慮している。兎に角美味しく楽しく無ければ食事で無いとの思いで、食事と共に楽しく過ごせる時間になるように配慮している。      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 季節感や彩りを考えてメニューを決め、その日の体調や歯の様子を見て、本人に伺いながら調理方法を変更し出来ない所を支援している。又、摂取量と水分量を記録して医師に相談し対応している。 |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後ガーゼ対応・ローリング歯ブラシ・入れ歯洗浄剤など、本人に応じた声かけ・見守りの口腔ケアをしている。                                      |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄表を見ながら、トイレ誘導やおむつの交換を行っている。おむつの使用には職員がいろいろ検討して、工夫してぎりぎりの選択をしている。  | 排泄の自立を目標に、利用者それぞれの排泄パターンに基づく排泄誘導やオムツ交換を、羞恥心を感じない方法で支援している。                         |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 消化のいいものや食物繊維を多く含むと思われる食品など、職員が知恵を出し合って提供することが多い。定期的な体操や歩く事で改善している。医師にも相談している。                                      |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 体調をみて曜日変更したり、午前午後の入浴希望を聞いて、無理をしない入浴支援ができています。  | 冬季週2回、夏季週3回、利用者の希望に沿った入浴介助を実施している。器械浴・一般浴と利用者の身体状況に応じた対応と支援で、身体清潔とリラックスタイムを提供している。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 明かりを一晩中つけていたい人、豆球だけの人、廊下の明かりなどその人に合った状況を支援している。なかなか眠れない人にはホットミルクなどで対応し、見守りしている。                                    |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 服薬説明書や副作用のチェックを行い、薬による症状の変化を見逃さない為、職員とよく話し合っている。出来る限り薬を少なくする方向で医師に相談し、体調をみながら検討している。                               |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | その人の得意分野や生活歴から考えられる事をよく理解検討し、無理のない状況で提供している。買い物、ドライブ、喫茶店などにもよく出かけている。  |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 家族と外泊したり、外食・買い物・墓参りなど、出かける事で気分転換になっている。地域への催しにも参加したり孫の学校行事に出かけたり、近所のカラオケ喫茶にも出かける事も多い。港市などにも出かけ、買って来た魚を料理して食べる事もある。 | 近隣地域の散歩・買い物・行楽・外食等の機会を利用して、社会の状況や季節を感じる機会として、日常的に条件が許す限り戸外に出る支援を実践している。            |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 嗜好品が購入できる程度の小遣いを持ち、自己管理している人が5名いる。買い物にも出かけられる。   |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | かかってきた電話はすぐに取り次いでいるし、いつでも自由にかけることができる。手紙を代筆した事もある。   |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間には季節の花や観葉植物を絶やさず、安心と安全を心得ながら配慮している。表示もわかりやすいものを工夫したり、壁には季節に合う入居者の作品(ちぎり絵や塗り絵)を飾り楽しめるよう配慮している。 | 広くて明るい空間、個々に憩えるスペースとゆったりした環境が提供されている。季節を感じる作品や花など飾られ、施設という感じより一般家庭の居間を連想できる雰囲気がある。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 各テーブルとイス、ソファ、こたつ、按摩器、運動機具など設置し自由に休憩や作業が出来、我が家での生活空間をイメージして工夫している。                                  |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 居室にテレビやたんす・仏壇、家族の写真などを置かれたり、職員も椅子や机を配置して工夫し、少しでも寂しくないように、カーテンを替えたり、家族とのスナップ写真を壁に張って喜んでもらっている。      | 自分流の飾りや馴染んだ調度品を配置し、個々の好みに合った居室になっている。気分を替える為に、時にカーテンを替える等配慮されている。                  |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 食堂は対面式になっており食事のできる様子も解かり、気軽に一緒にやれる状況になっている。広間は皆集まって一緒に作業したり趣味を楽しんだりして生活し、寂しくないようになっている。            |  |                   |